

幻想と戦慄に満ちた精神の地獄絵！

狂気之美が彩どる残酷なロマン！

文学の危機、現実の危機に
立ち合わされている私達にとって

『幻の作家』―夢野久作が格闘した世界は
あらためて問い返されるべきであろう
単なる推理小説の枠を突破して

自由奔放に精神の荒野と

狂気の奈落に彷徨したその作品群は

大きな衝撃を与えるにちがいない

今や夢野久作が世に問われるのではなく

私達が夢野久作に問われる季節を

迎えているのだ

孤高の営為を持続した情況への射手の

めくるめく精神の軌跡と

切り開かれた万華鏡のような地平を

凝視しなくてはならない

夢野久作全集

全七巻

編集委員 中島河太郎 谷川健一
解説 尾崎秀樹 木々高太郎 なだいなだ
鶴見俊輔 森秀人 塩谷雄高 杉山クラ・龍丸

四六上製函入
各980円

◆第一回配本 第一巻 6月5日発売！

*収録作品 Ⅱあやかしの鼓 夫人探索 いなか、の、事件 人の顔 死後の恋 瓶詰
の地獄 涙のアリバイ 押絵の奇蹟 微笑 支那米の袋 鉄槌 空を飛ぶパラソル
卵 復讐 童貞 一足お先に 冗談に殺す ほか／初期の珠玉の中・短篇を網羅して、
夢野久作の誕生を迎える ■詳細内容案内・呈

三一書房

東京神田
駿河台2

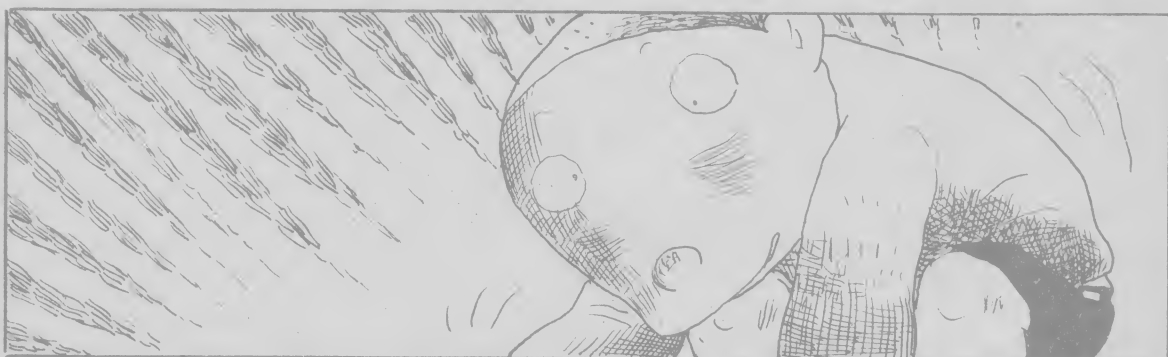
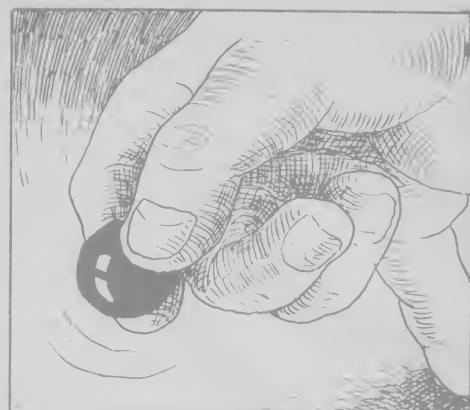
土山町奇譚

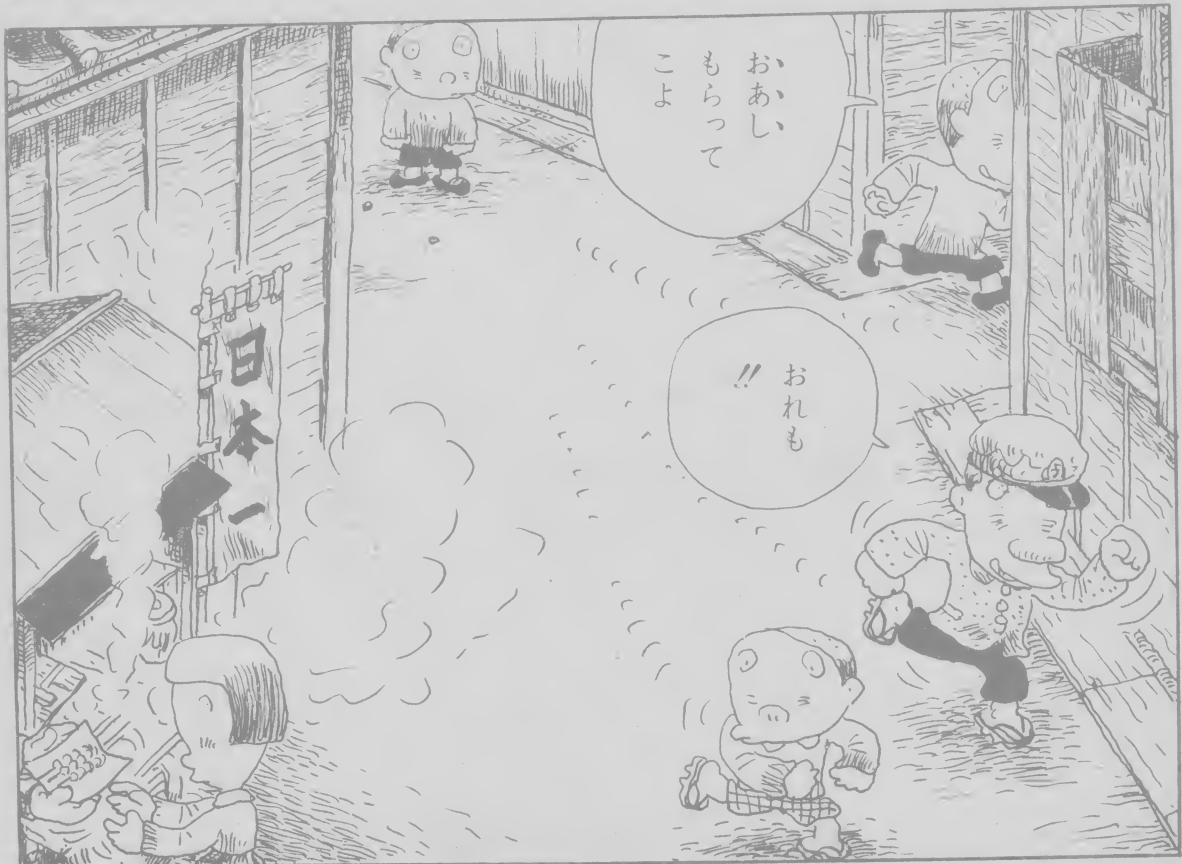
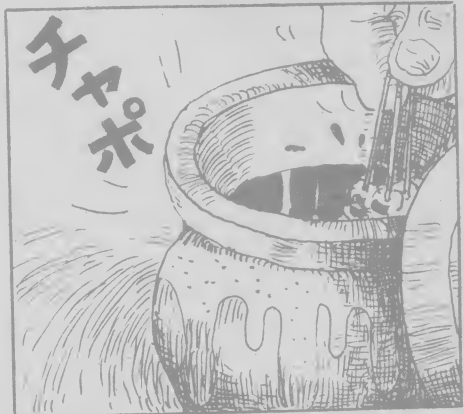
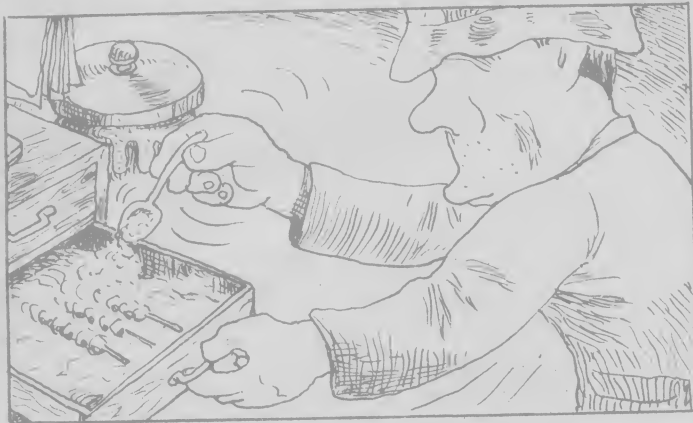
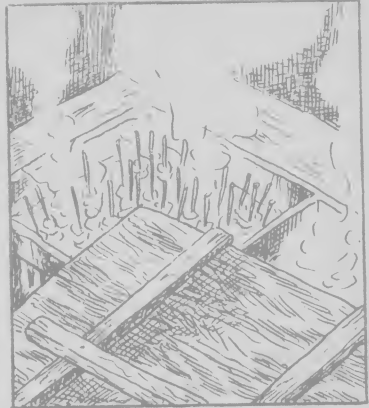
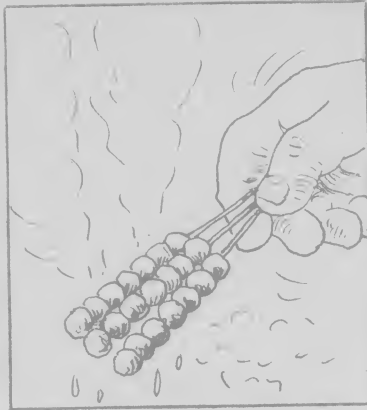
うぬぼれ鏡

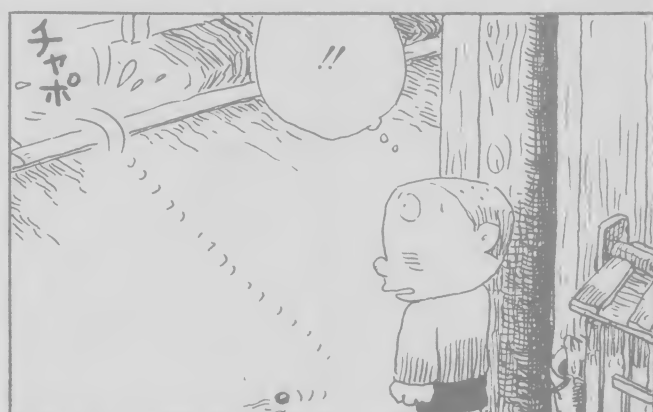
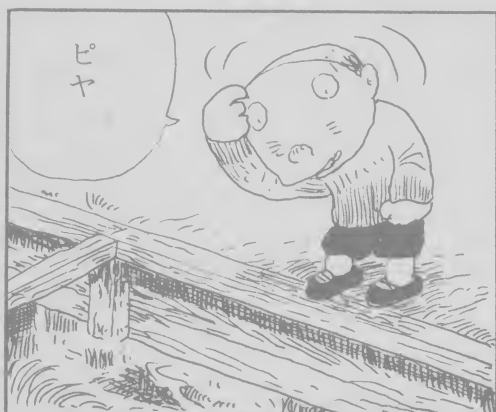
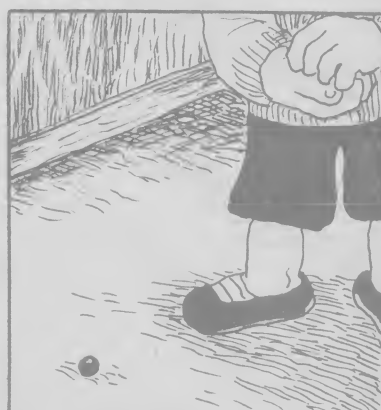


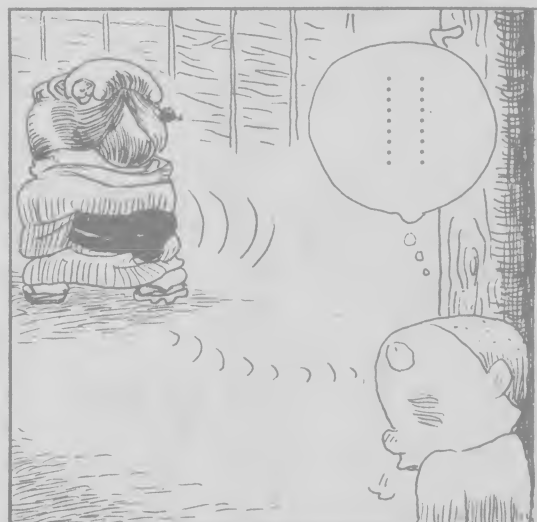
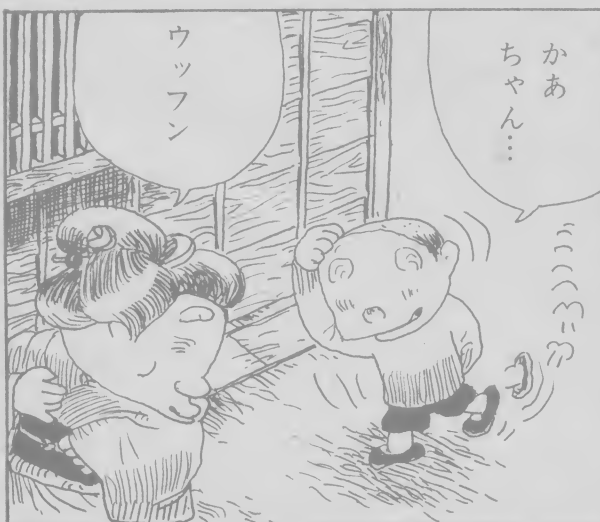
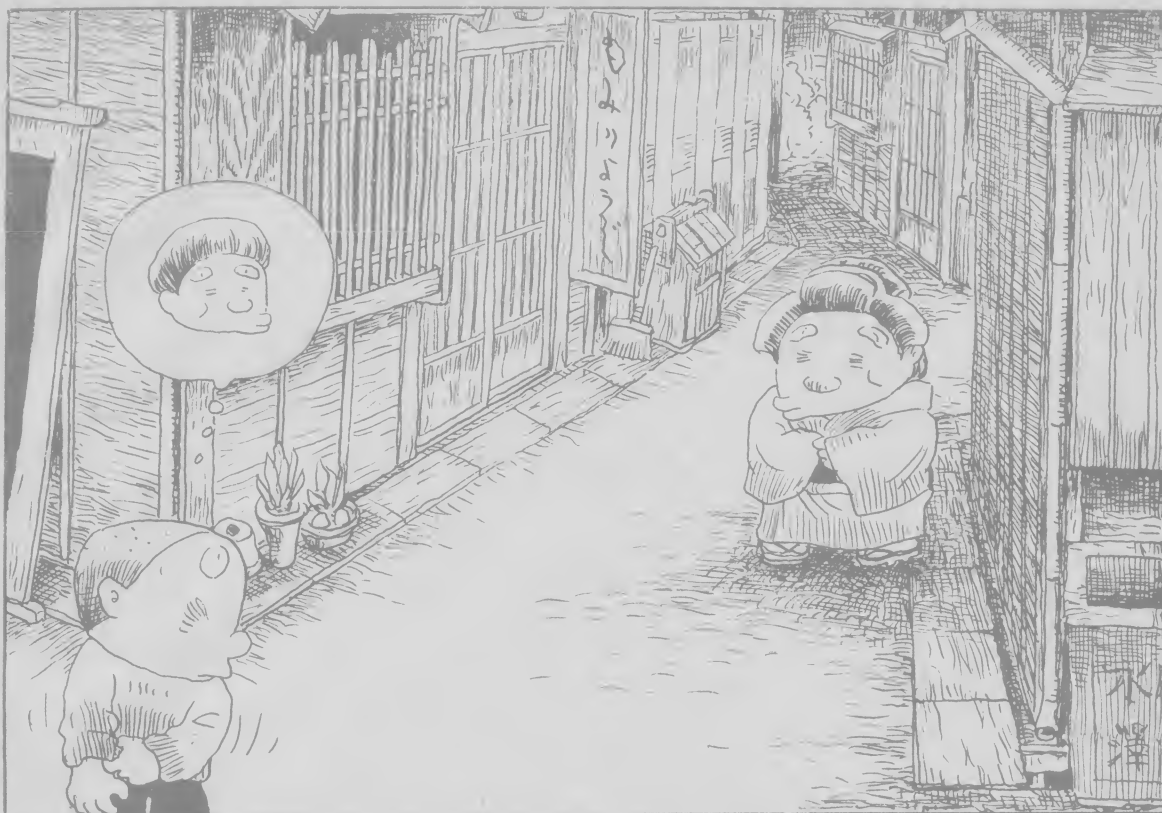


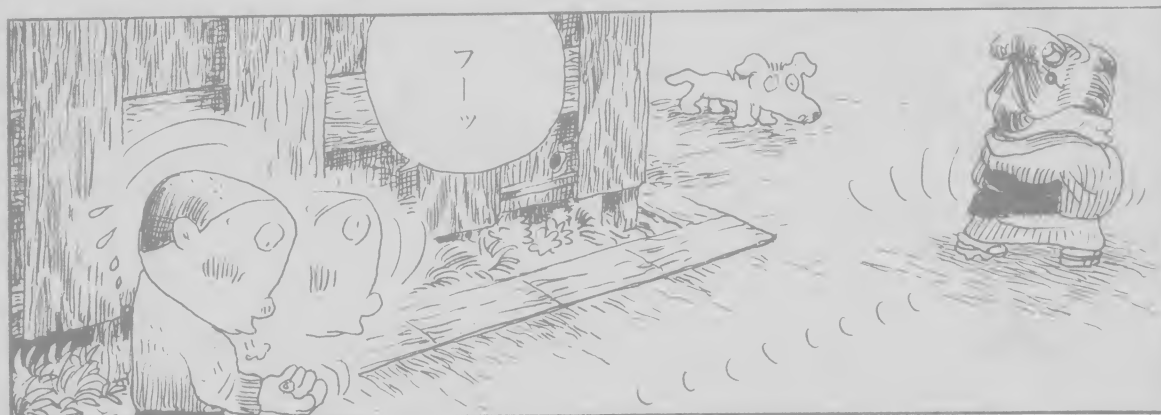
滝田ゆう

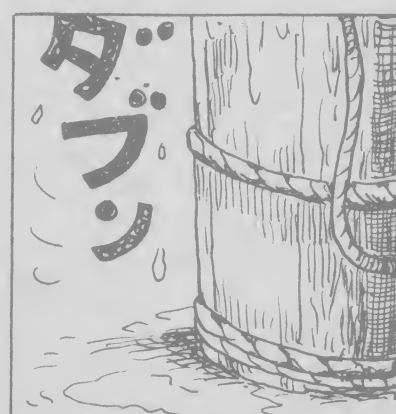
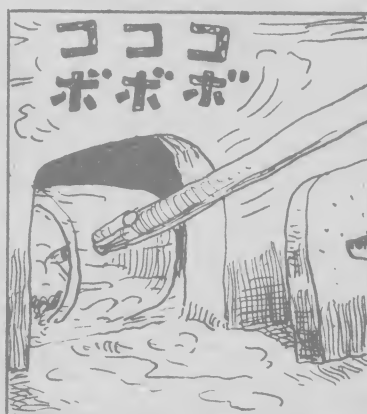
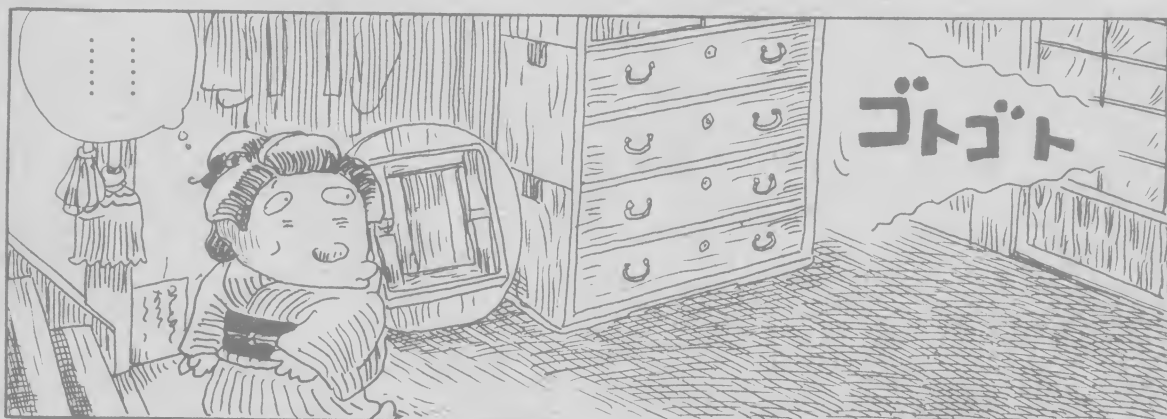
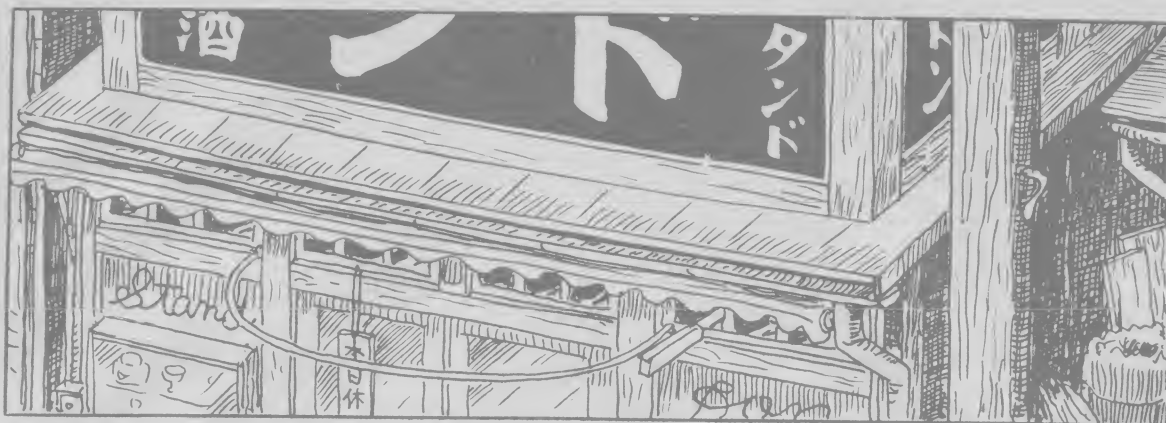


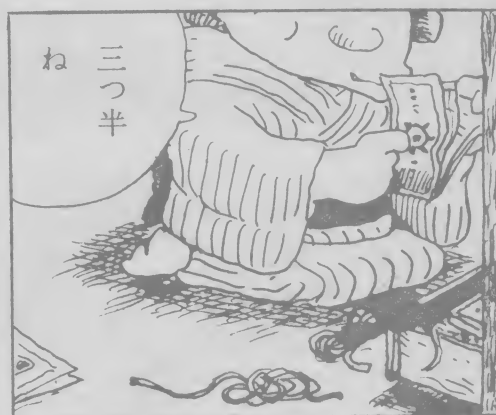


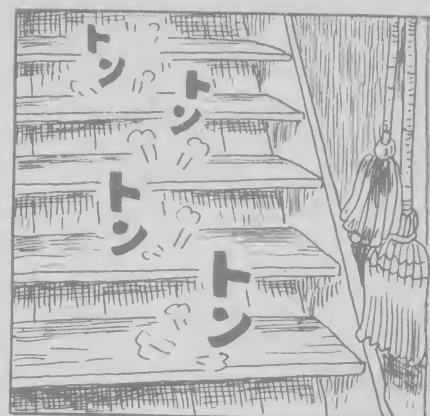
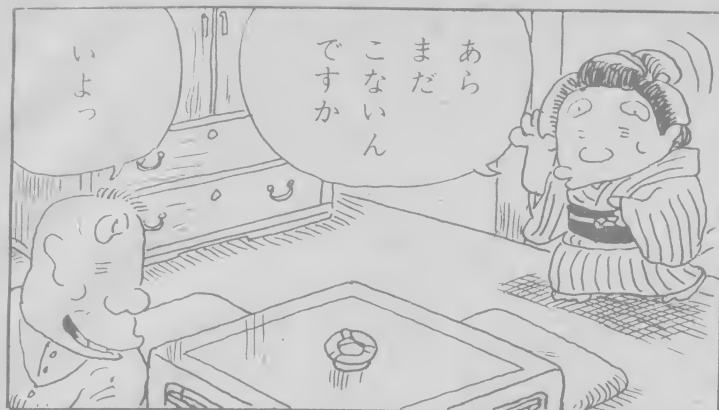


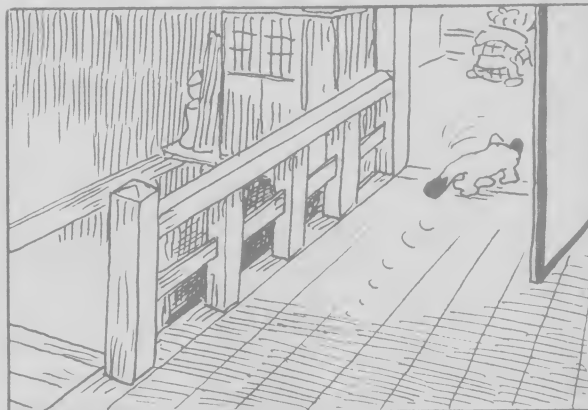
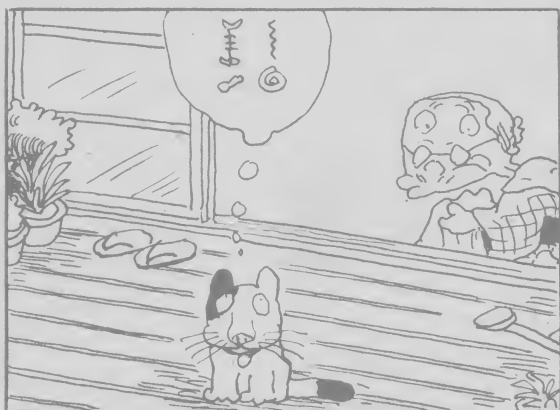
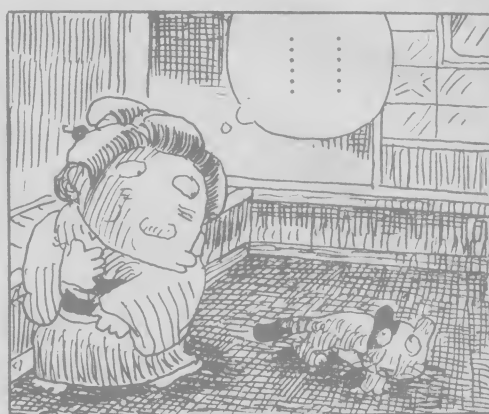




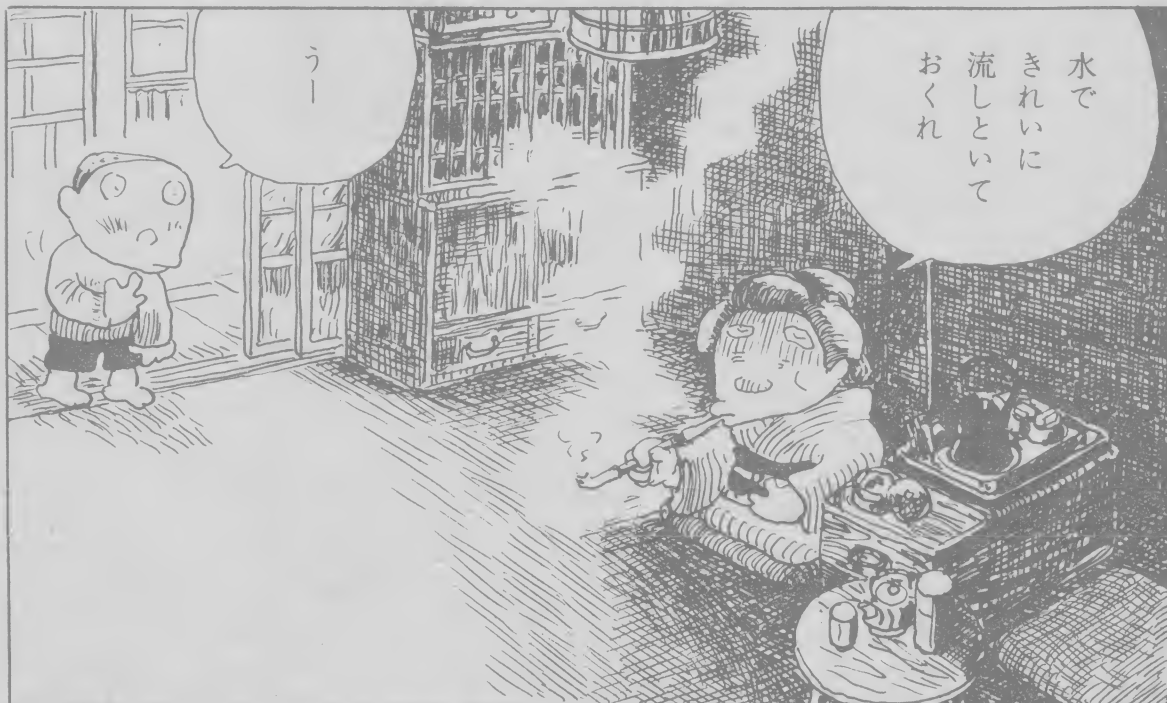
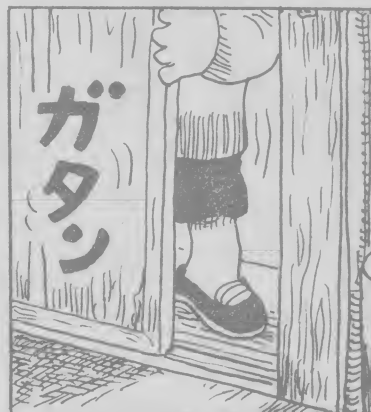
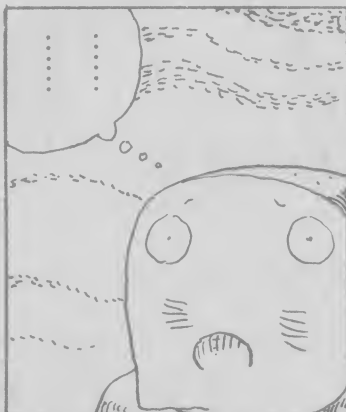


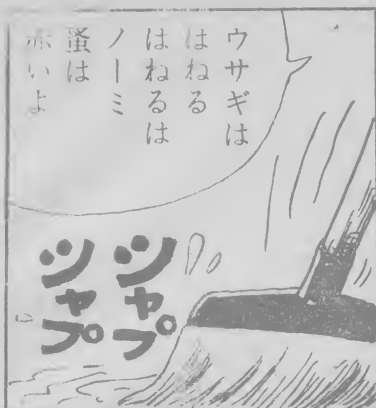












ウサギは
はねる
はねるは
ノミ
蚤は
赤いよ



あまいのは
お砂糖
お砂糖は
白いよ
白いのは
ウサギ



イロハニ
コンペイトウ
コンペイトウは
あまいよ



オナラは
くさいよ
くさいのは
ウンコ

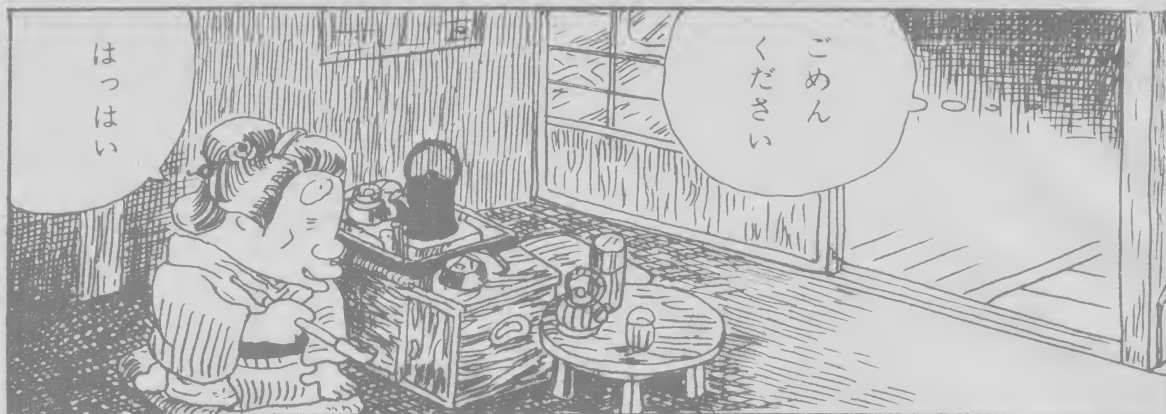


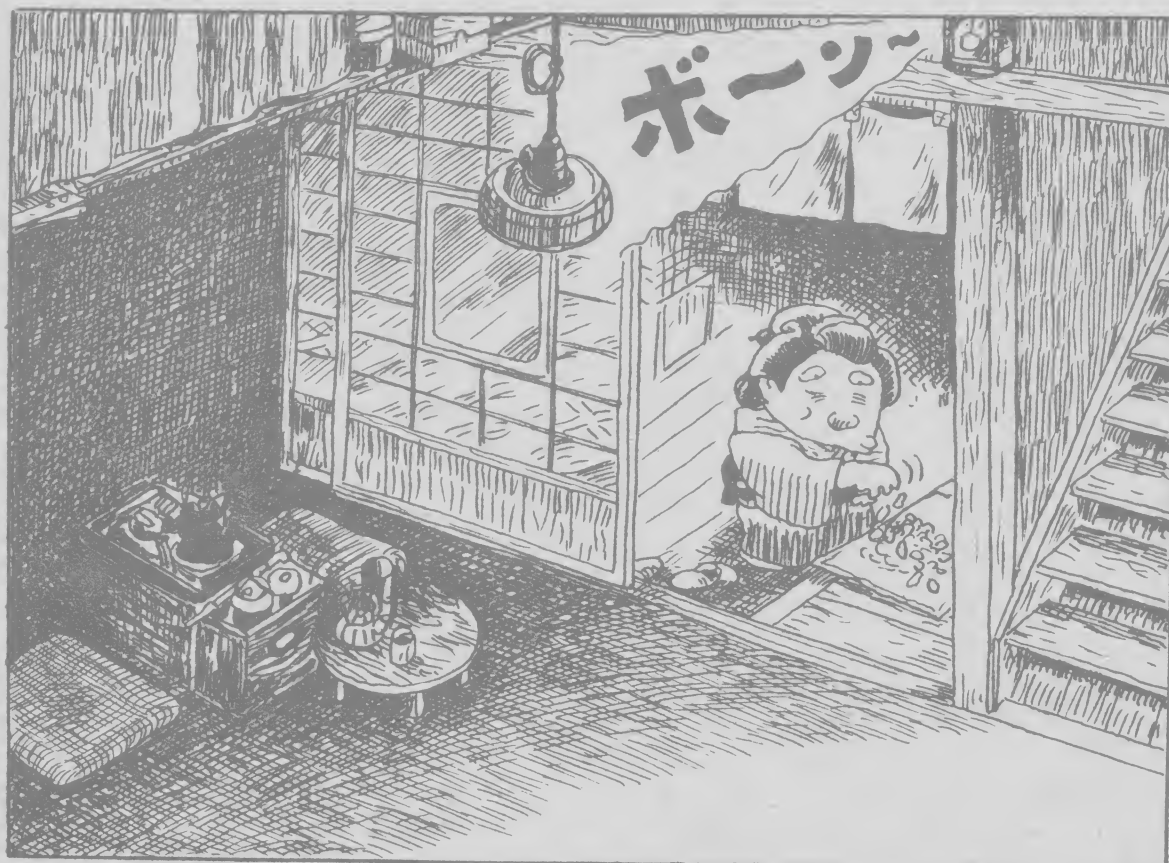
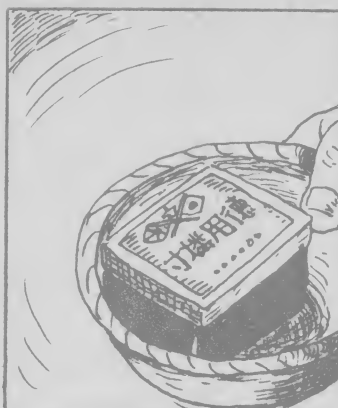
赤いのは
ホオズキ
ホオズキは
なるよ
なるのは
オナラ

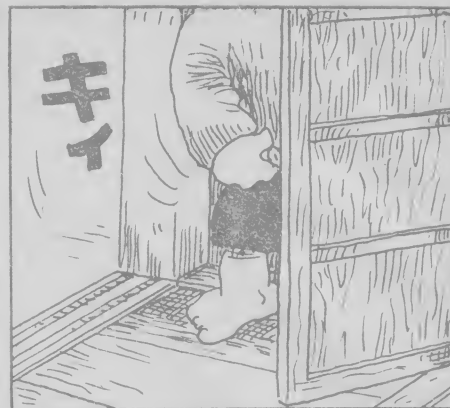


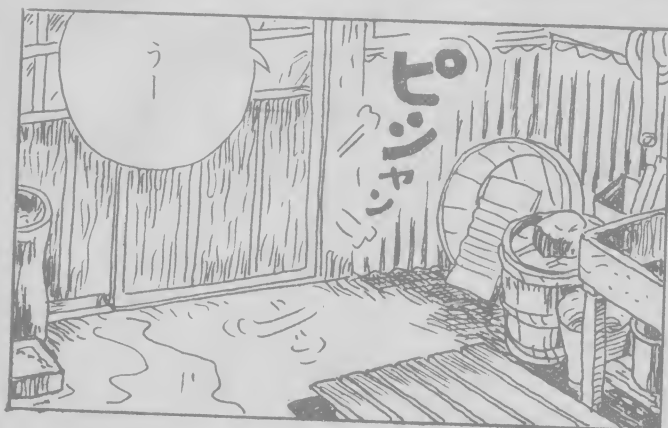
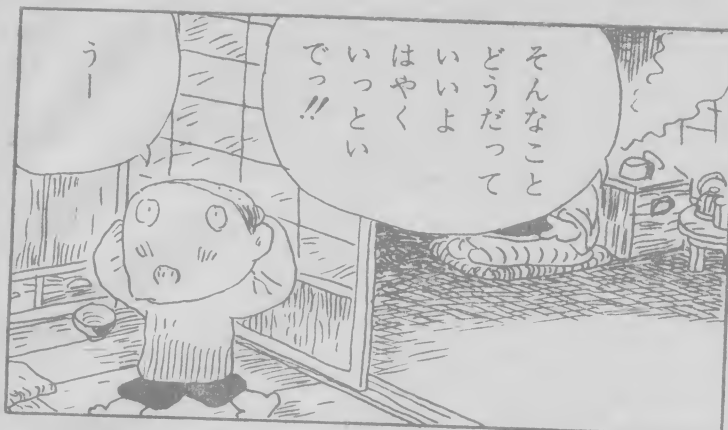
ウンコは黄色いよ
黄色いのはバナナ
バナナは高いよ
高いのは十二階
十二階はコワイよ
コワイのはオバケ
オバケは消える
消えるはデンキ
デンキはひかる
ひかるは親父の
ハゲアタマ
と





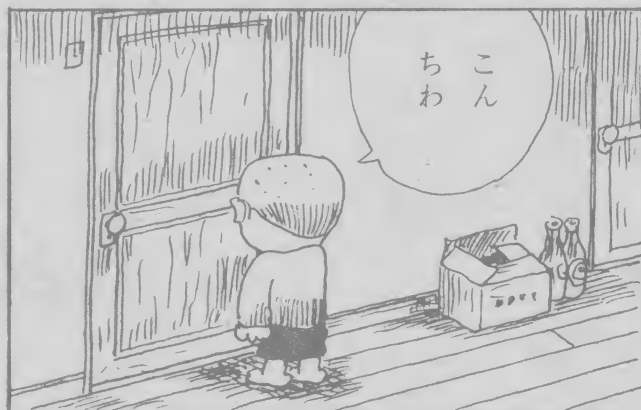


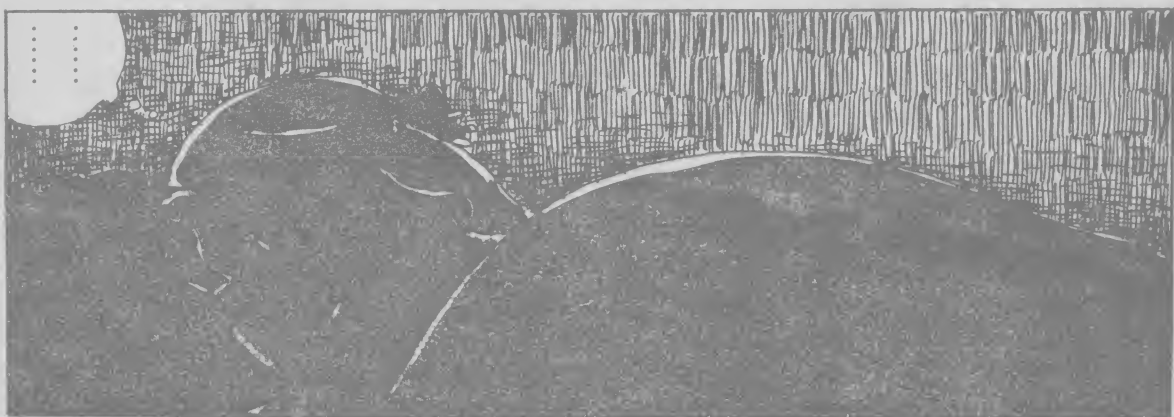
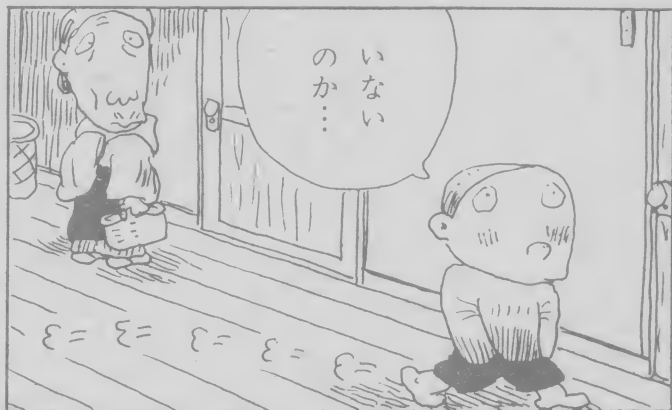
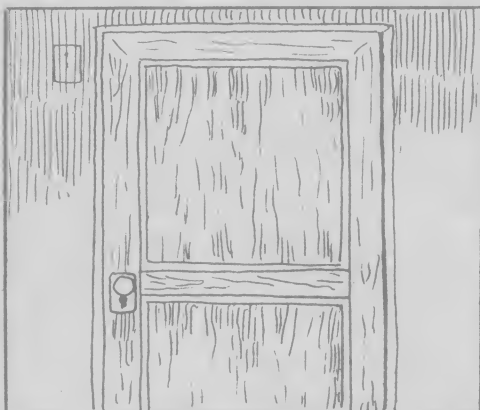
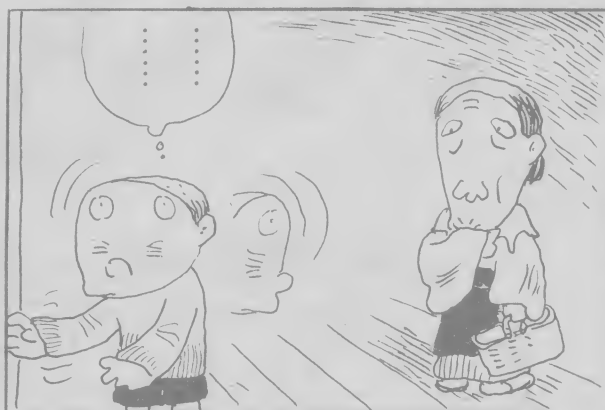
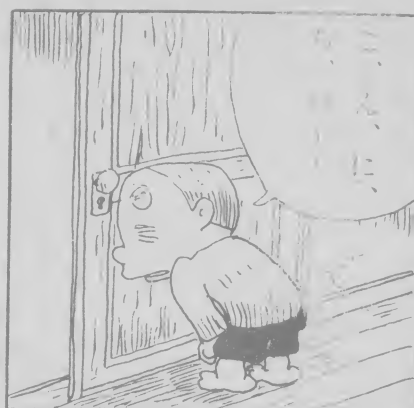
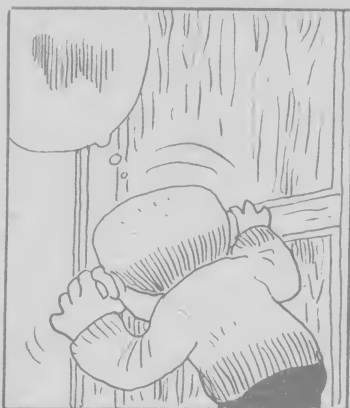


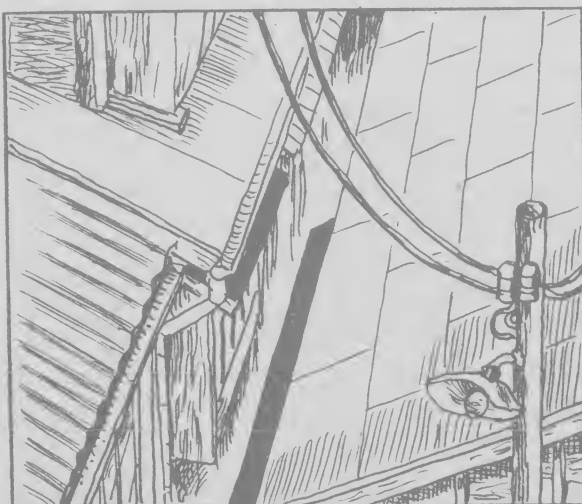
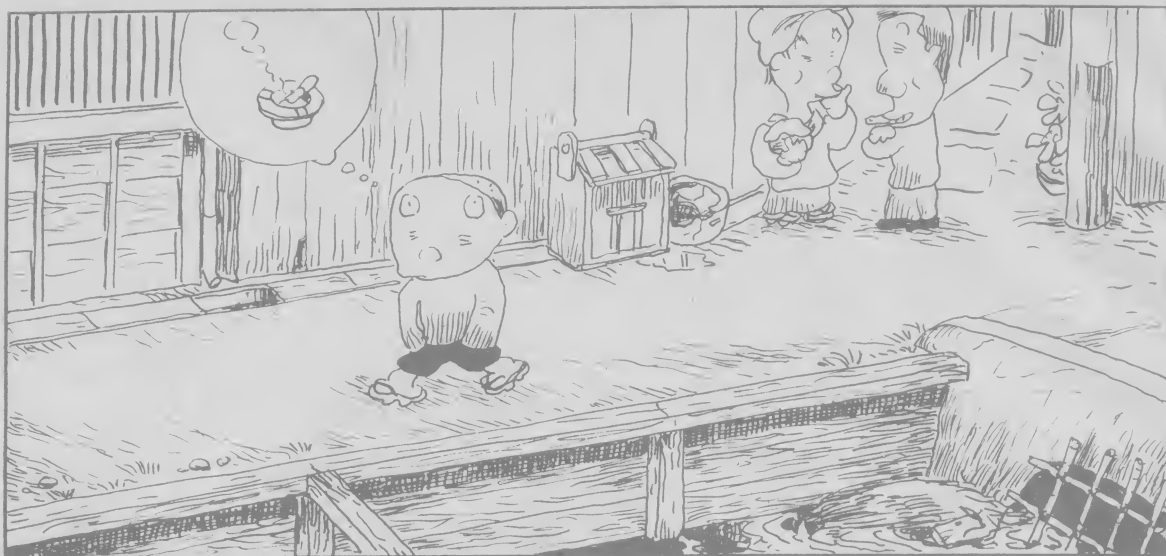


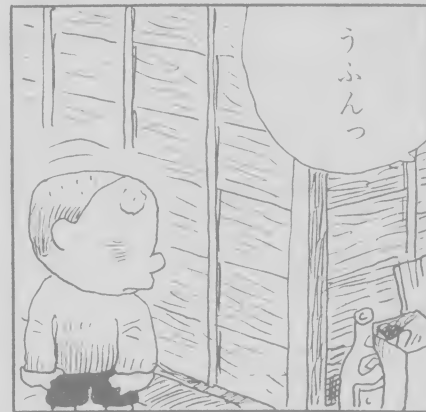
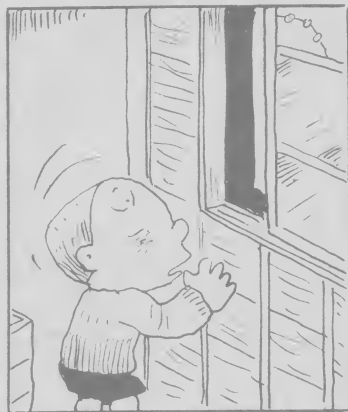
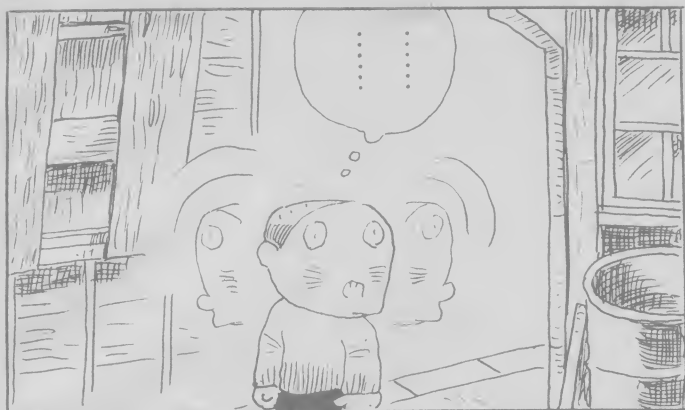


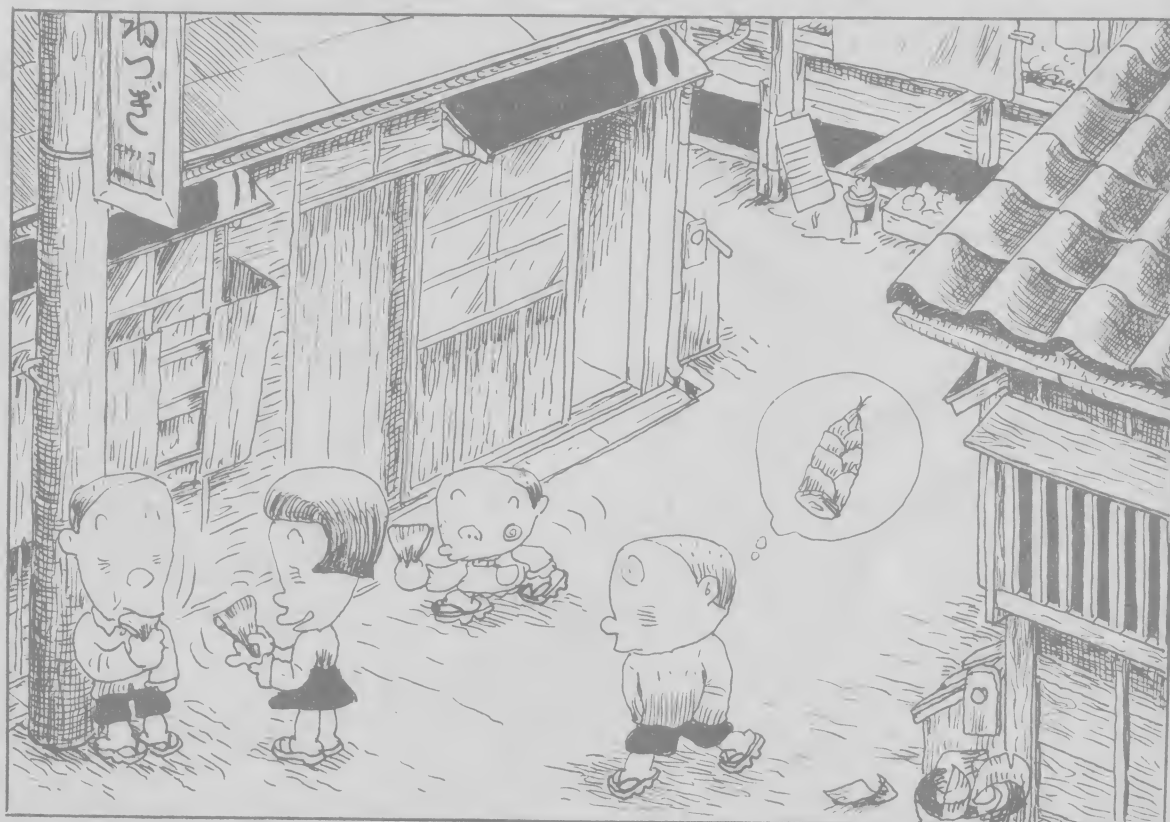
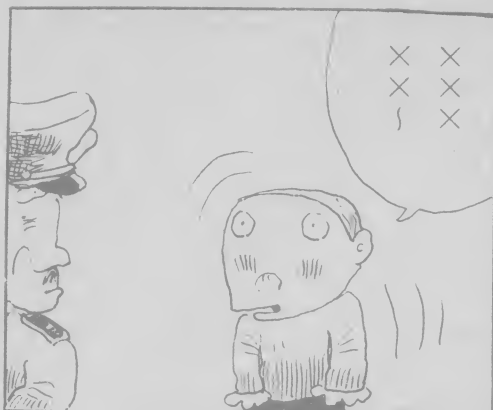


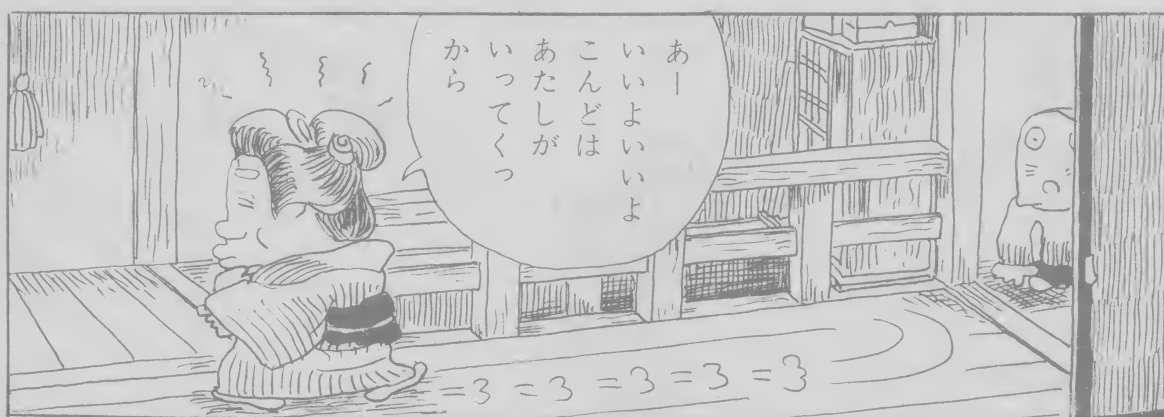
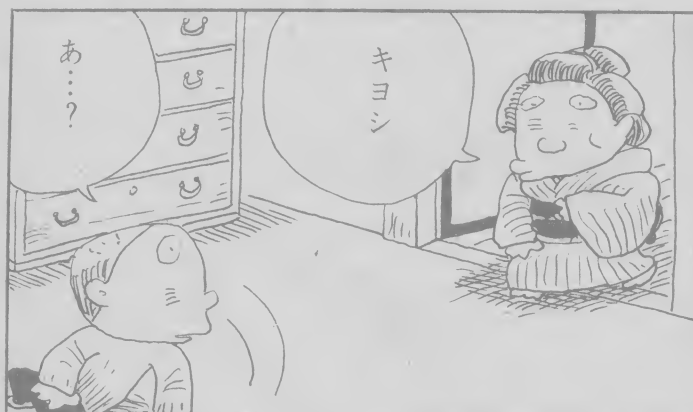
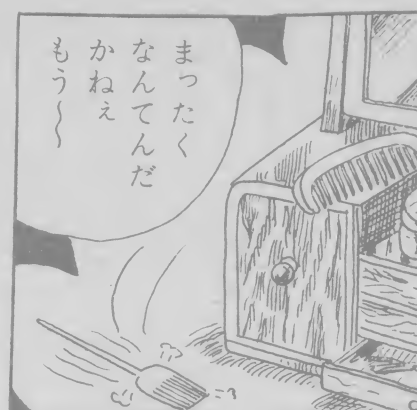


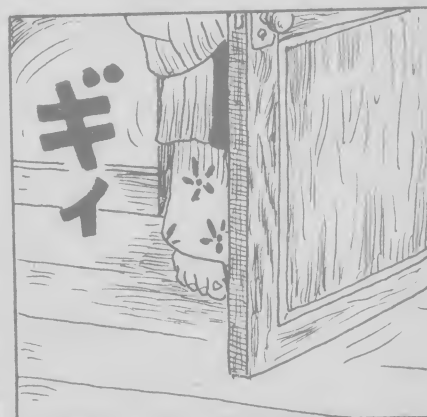
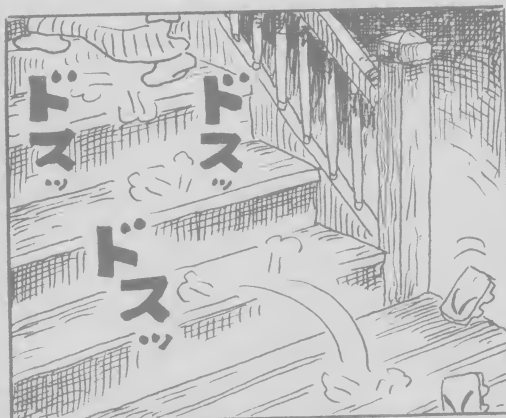
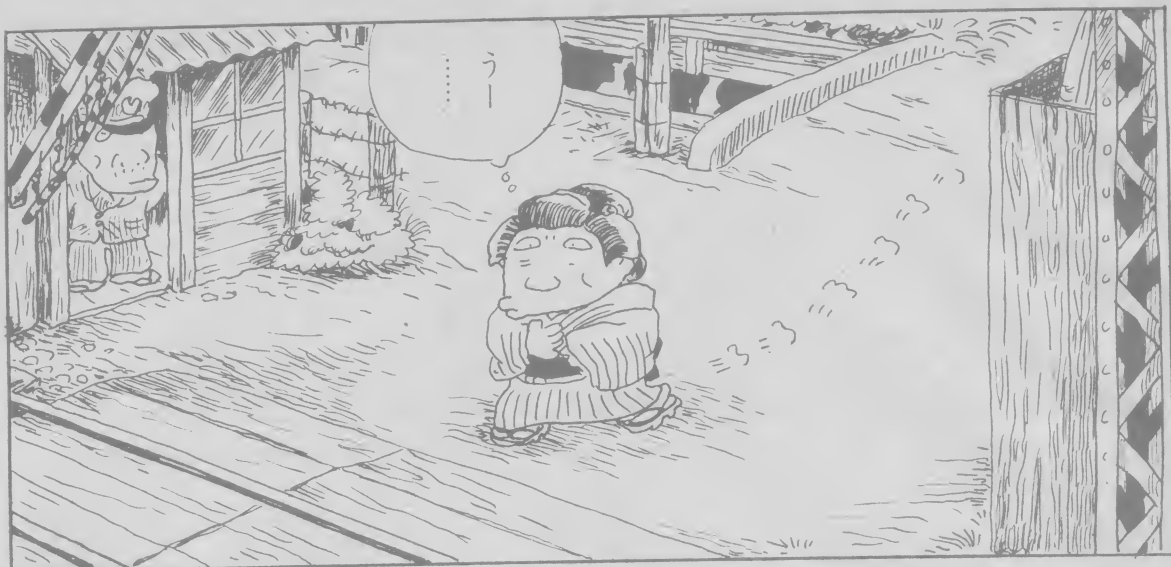


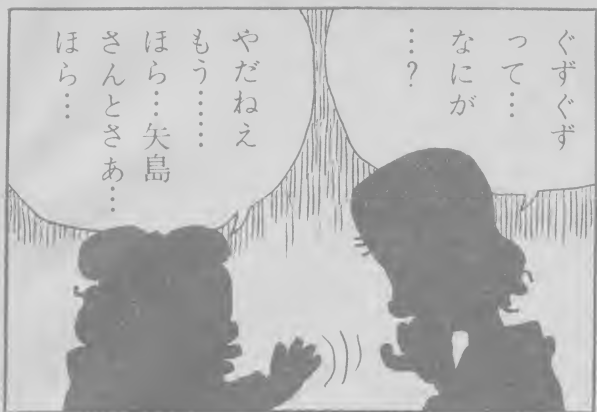


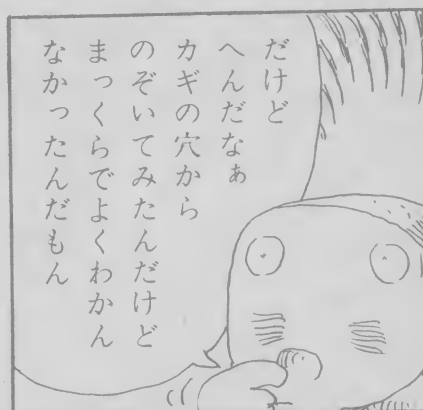


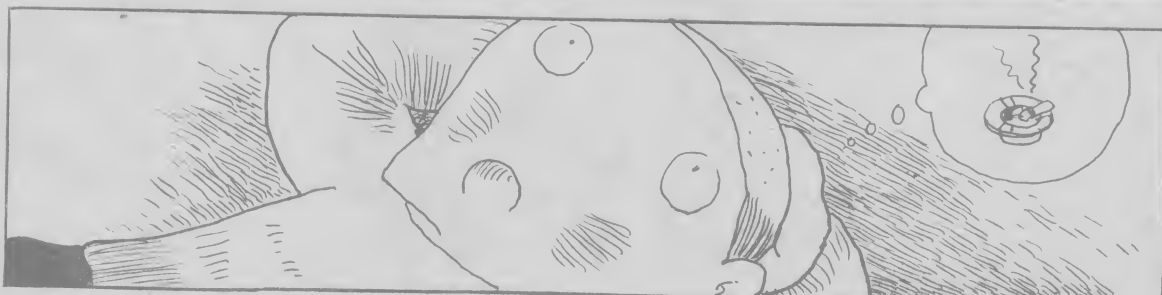
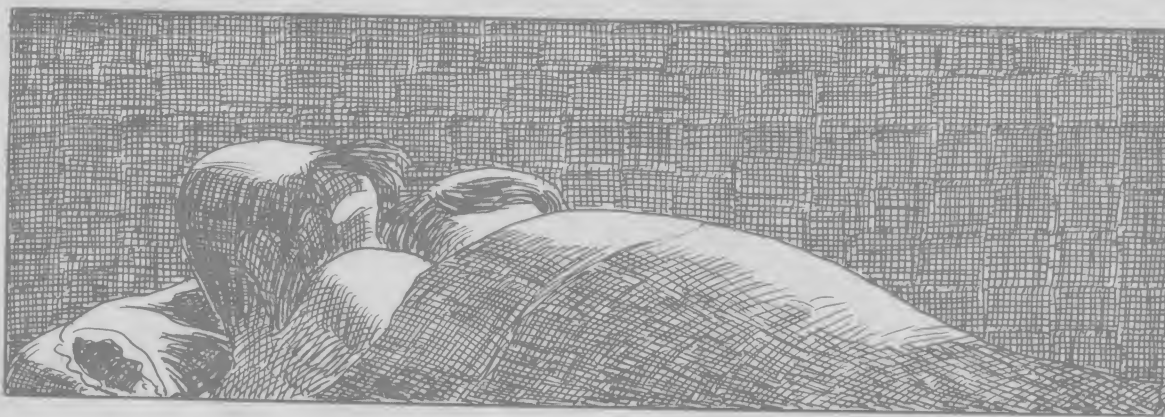
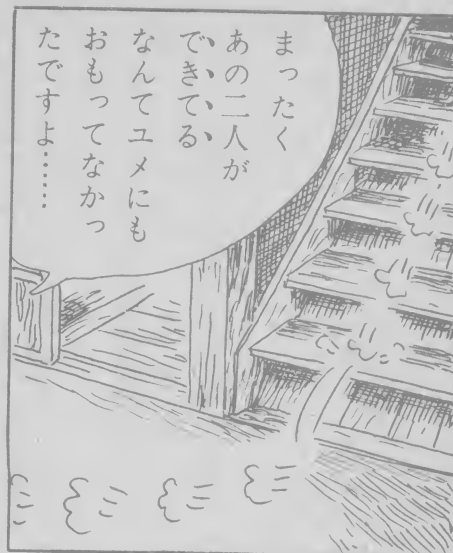
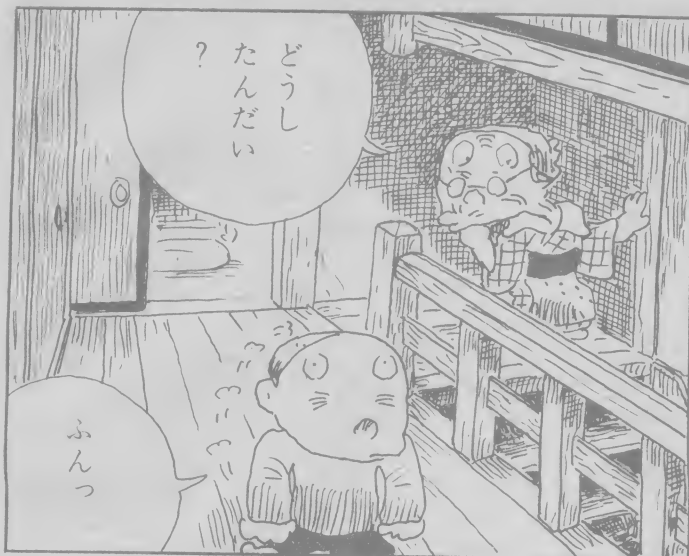


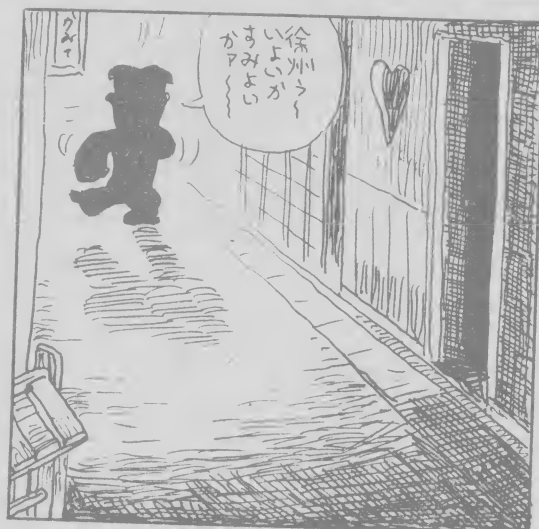


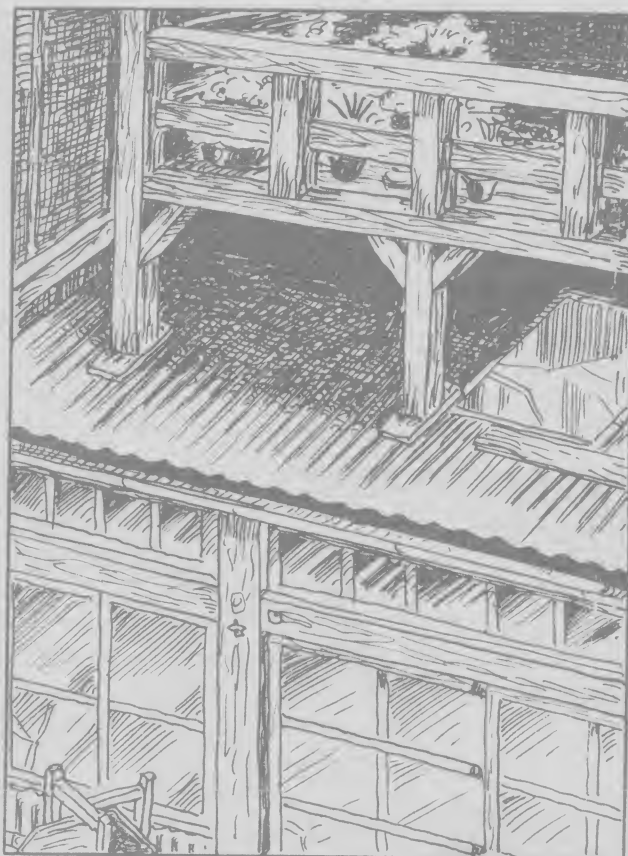
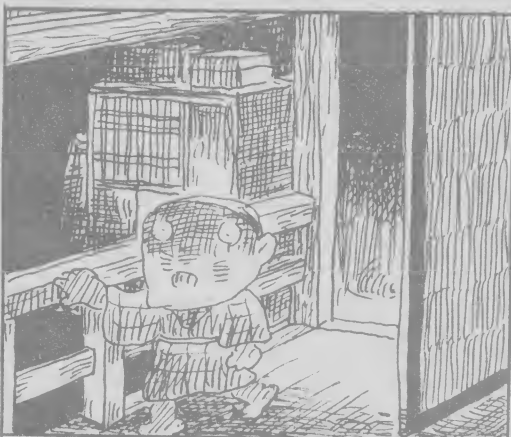
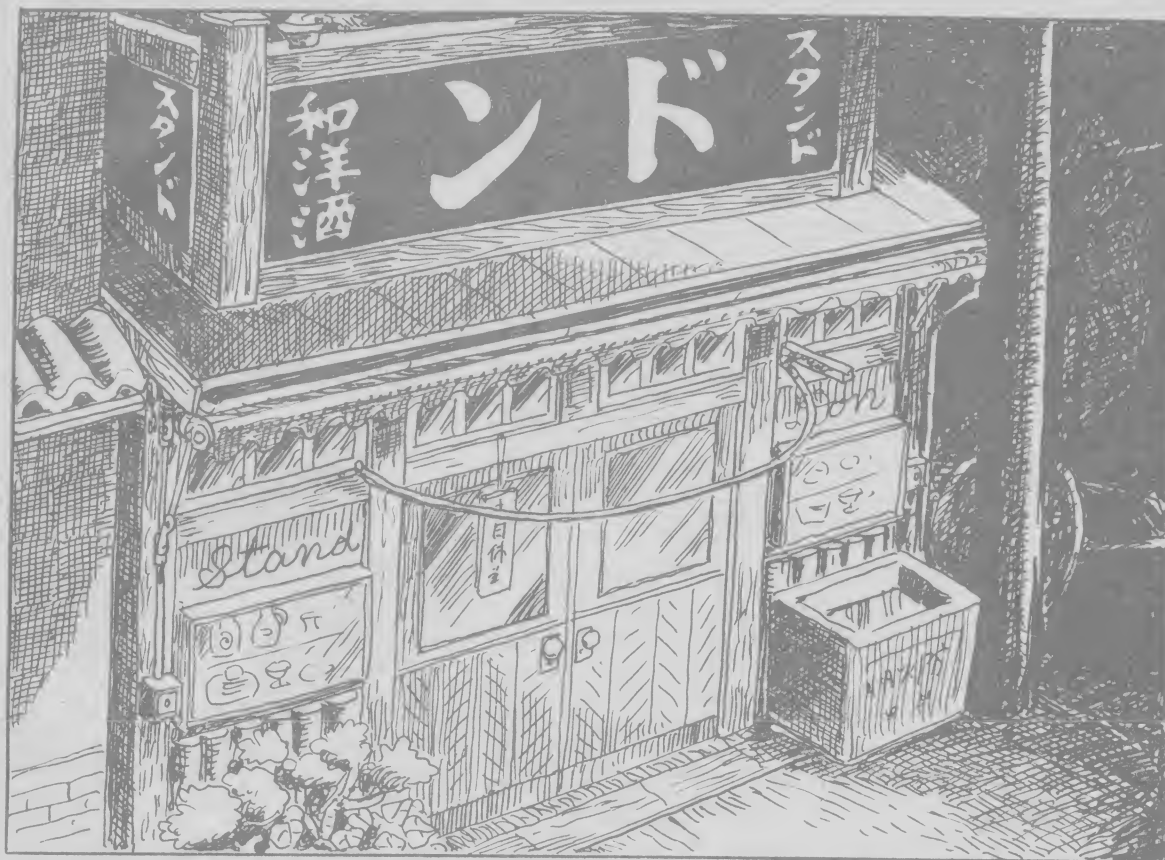


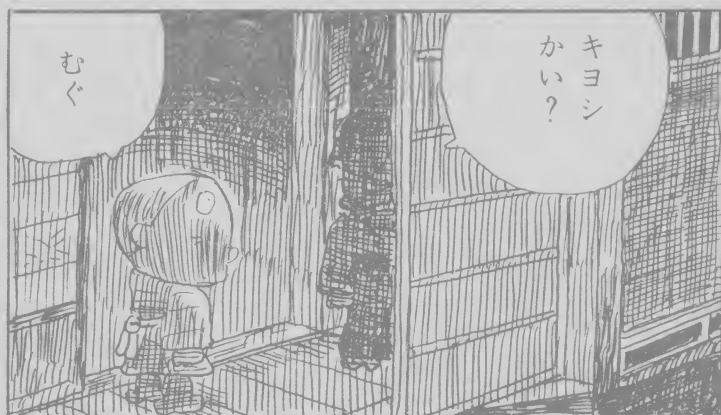
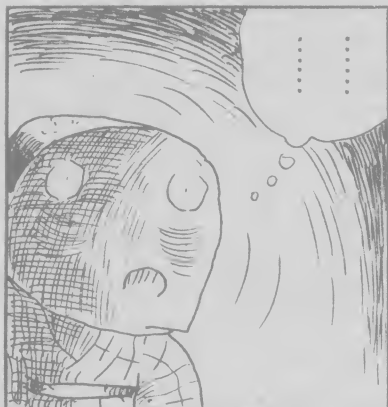


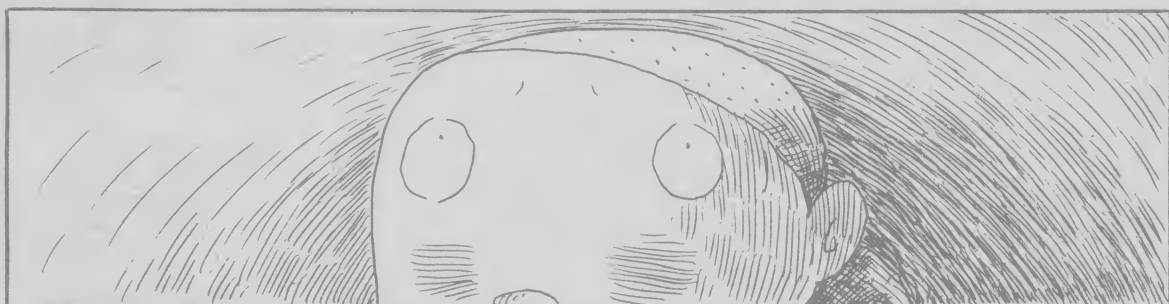
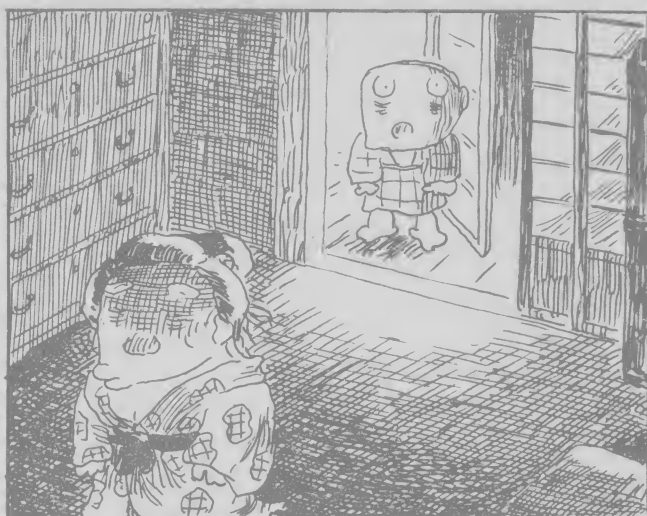












ねじ式映画

■お目にとまったシアワセ、お読みになることの不シアワセ。これは映画の広告であります。しかもしかも単なる広告、その上何と題名のみなのであります。正直に告白しているのですから信じて下さい。これ以上読み続けなくても何も出て来ません。しかしそう言われてもやっぱり読んでみましょう。アナタは、かすかな立腹と同時に期待をお持ちなんでしょう。若しかしたら改題の理由とか、ガロとどんな関係なのかしら、例の放浪のマンガ家のデンキ映画かも、とかそう思われたら思うツボ、これはワタンの期待なのですが、あ、残念半ば非情にもすべて期待はすれなのであります。それは何故か最初に申し上げた通りいくら読み続けても何も出て来ないからなのです。何も書いてないのと同じなのであります。つまり当り前の事です。映画は見るより仕方ないので、何も書いてないからと言って立腹なさる事はありません。例えば題名が、ドスケベエジゴク改題トクガワオンナノマタサキであつてもやっぱり映画は見なきや映画にならないのです。マンガは見るモノじゃなくてスルことでしよう、映画もスルことは同じ。この広告を読み続けて遂には読み切ってしまうという好奇心オウセイのアナタと「ねじ式映画」との間には新しい情況が生まれた事を素直に認めましょう。そして遂にアナタは「ねじ式映画」を見る事が必要になって了ったのであります。■佐藤利明

飛翔

改題

シネマ・ネサンス1969年制作—とりあえず5月30日から6月8日まで草月会館ホールで上映¥350前売中
TEL 491 8248 TEL 408 1126